

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。**「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。**

留学者情報	
・ 学部	理工学研究科
・ 学科(コース等)	システム理工学専攻
・ 学年(渡航開始時)	修士1年
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input type="checkbox"/> 授業履修型 <input checked="" type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	ポーランド
・ 都市名	クラクフ
・ 留学先大学名	AGH 科学技術大学
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年 (2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2023年9月 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2023/12/1
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input checked="" type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	AGH Space Systemsという学生団体(サークルのようなもの)に参加したかったから。自分は以前から宇宙開発に興味があり、学部生のときから月・惑星探査ローバに関する研究をしていた。AGH Space Systemsは火星探査ローバの学生向け世界大会で優勝しており、強く惹かれた。また、自分の研究とマッチしそうな研究室があったことも理由である。さらに、同じ期間に指導教官がポーランドの別の大学に滞在することが決まっていたため、同じ大学でなくとも同じ国内にいるという安心感があり、ポーランドを選んだ。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。(SIT指導教員の紹介等)	私の指導教員とはコネクションが無い大学であったため、受け入れてくれる先生を探すのには時間がかかった。AGHの学科ホームページから教員一覧を探し、一人ひとりGoogleScholarや論文検索エンジンに名前を入れて検索をかけた。初めは海外の教授の調べ方も分からなかったが、国際部の方にアドバイスをいただき、大変参考になった。LinkedInやReserchGateというサイトが役に立った。

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得済みであり、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	学部4年の冬頃に留学することを決めため、留学前(修士1年の前期まで)に必要な単位を取り終えた。近年はオンラインで就活が進められることも増えてきたが、個人的に就活は日本でしたかったため4ヶ月という期間に設定し、就活時に帰国できるようにした。指導教員とは十分にコミュニケーションをとり留学に賛同してもらうことができた。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

AGHではモバイルロボットのSLAM技術や経路計画をメインテーマとする研究室に所属した。経路計画を専門とするPh.D.の学生がメンターとして主に指導してくれた。メンターとPI(研究室主催者)の教授と面談をし、ソフトウェア上で自分のやって来た研究をシミュレーションし、経路計画と組み合わせることをテーマとした。4ヶ月という短い期間を考慮して、ハードウェアの制限(研究室にあるロボットは他の学生も使うのでいつでも使える訳ではない)を受けずに研究できるように考慮してくれた。しかし、それまでプログラミングやシミュレーションを自分の研究でほとんど使っていなかったため、苦戦した。研究内容を理解してもらうのに1ヶ月、MATLABの習得に1ヶ月、シミュレーションの習得に1ヶ月かかった。メンターは仕事もしているため常に大学に在るわけではなく研究室も常時開放されてはいなかった。分からないことはメールで丁寧に回答してくれ、週1回対面で指導を受けられた。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	単位数 (現地単位数)
科目概要	
科目名②	単位数 (現地単位数)
科目概要	
科目名③	単位数 (現地単位数)
科目概要	
科目名④	単位数 (現地単位数)
科目概要	
科目名⑤	単位数 (現地単位数)
科目概要	
科目名⑥	単位数 (現地単位数)
科目概要	

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

AGH Space Systemsの活動に参加し、火星探査ローバの世界大会と一緒に行くことができた。これらのパフォーマンスはもちろんのこと、世界中のトップレベルの学生が一堂に会する空間が、自分にとって研究意欲・交流意欲をかき立てる非常に刺激的な機会となった。休日は、寮や学内の図書館で出会った学生とクラブ近郊に出かけることが多かった。授業を履修しない研究室配属型留学では、人間関係が研究室内で完結しがちなので、課外活動や寮内での交友関係を深めることがおすすめ。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

当初の留学計画は月・惑星探査車のソフトウェアシステムを学ぶことであった。この目的を達成するため、配属された研究室でメンター(Ph.D.の学生)の元、MATLABによるバスプランニングの基礎とCoppeliaSimによるシミュレーションの基礎を学んだ。滞在中に実際にAGHで開発された火星探査車を見ることができた。思い切ってその火星探査車を開発した学生団体AGH Space Systemsに連絡をとり、探査車の詳細をインタビューさせてもらった。その後、彼らが参加するEuropean Rover Challengeというコンテストに誘ってもらい、現地で見学することができた。さらに新年度が始まるタイミングでそのチームのリクルーティングが行われ、メンバーとして受け入れてもらい、短期間ではあったが一緒に活動することができた。自分にとっては、このチームと関わったことが留学中最もエキサイティングな出来事であった。今思い返して、留学中で一番大変だったのはポーランドに着いてからの初めの1週間である。事前にネットでかなり詳細に下調べしたものの、空港から乗り換え無しで行けると聞いていた駅までは、途中駅の大規模工事で乗り換えが必要、かつ工事中の不整地を1kmくらい重い荷物を持って歩かなければならなかった。寮に着いても消耗品の備品はほとんどなく、売店がどこにあるかも分からない状態で非常にとまどった。トイレトーパー、水、保存食的なものは一つスーツケースに入れておくと、初日に慌てずに済むと思う。留学前に準備しておくべきだったことは、英会話の練習をしておくことである。現地の言語も英語ではないので、学生同士でコミュニケーションをとるときはお互いゆっくり話さずらうと思っていたが、ポーランドの学生はネイティブ並に流暢に英語を話す。コミュニケーションを取りたいのに、自分のリスニング力の欠如ゆえに相手のことを理解できないこと、スピーキング力の欠如ゆえに自分の考えを伝えられないことがとても悔しかった。英会話に関しては、どんなに準備しても準備しすぎることはないと思う。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

自分は国際プログラムの学生ではなく、また毛嫌いして英語論文を読むことも避けていたため、英語になれておらず協定校へ提出するカバーレターや研究概要を英語で書くことに時間がかかった。しかし、この辺りは国際部の方からきめ細かくサポートして頂いたため、初めてでも書くことができた。大変ではあったが、これも勉強のうちだと考えるようにしていた。これらの準備が卒論執筆の時期と重なっていたので、時間の管理が難しかった。

- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

ポーランド大使館はAcceptance Letterの原本を求めため、国際郵便で送ってもらう必要があった。電子署名入のデータは原本として大使館側が受け入れてくれるが、AGHにお願いしても電子署名には対応していないとのことで、国際郵送が必要だった。大使館のご好意で、AGHから直接大使館にAcceptance Letterを送って良いと言ってくれたのでそうした。郵送には2週間かかり、ビザ申請がかなりギリギリになってしまった。

- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

ビザ申請は早め早めと言われながらも、やっぱり自分で取りかかるときはギリギリになってしまった。もちろん早めに準備するのがベストだが、ギリギリになりそうな場合は大使館の指示に早く対応できるように、自分の他のスケジュール(バイトや私用)に余裕を持たせておくと良い。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)

協定校の寮

- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか?(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)

出願時に協定校に依頼した。寮の申し込み用のwebページがあり、そこで申し込むと寮が割り当てられるというシステムになっている。

- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか? 交通手段や所要時間を教えてください。

ワルシャワ空港からクラクフ中央駅:電車、クラクフ中央駅から大学:バス

- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか? 交通手段や所要時間を教えてください。

徒歩通学。キャンパスが広いので棟によって所要時間は異なる。大学内を端から端まで歩くと30分くらい。

- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

寮は3ランクあり、自分は中間ランクに滞在した。(システムで割り当てられるため、希望のランクに入れないこともある。)約8畳の2人部屋で2部屋に一つ共有キッチン、バスルームがある。清潔で空調も24時間ついている。1人部屋はない。1.75倍の寮費を払えば二人部屋に一人で住めることになっているが、セメスターが始まると寮の予約が一杯で一人部屋は確保できなくなる。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥770	学生証発行料
往復航空券代(往復)	¥220,000	トビタテの留学準備金(25万)以内で収めることができた
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥75,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥16,000	パスポート取得費(東京のポーランド大使館でビザを申請する場合、申請費はかからない)
計	¥311,770	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥17,000	3ランクある内中間ランクの寮、ランクによって値段が約3000円/月変わる。水道、電気、光熱費、インターネットなど込み。
食費/月	¥30,000	外食(学食など)やカフェを週3~4回利用した。スーパーの食品は日本より安い。
その他/月	¥25,000	服、生活用品、文房具、留学生ネットワークのイベント参加費、交通費、観光、お土産など。
計	¥72,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥0	※トビタテと学内奨学金は併用できない
トビタテ！留学JAPAN奨学金	¥120,000	毎月の奨学金とは別に留学準備金として25万円受給した
計	¥120,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

大学の正面にある建物。1階はホールようになっており、式典の時に使われる。2階以上は教室や研究室がある。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

大学の寮の部屋。3段階の内、真ん中のランクの部屋に滞在した。机、ベッド、棚は個人の物が用意されている。キッチン、バスルームは2部屋で共有する。

寮の近くの学生食堂の日替わりメニュー



説明文

寮の近くに別の大学の寮があり、その1階に誰でも使える学生食堂がある。日替わりメニューは1食1000円ほどで安くはないが、2食分くらいのボリュームがあるため、残りはテイクアウトした。

European Rover Challenge



説明文

大学のある都市から電車で2時間弱の都市で開催された、火星探査車の学生コンペティション世界大会を見学しに行った。これを見たくてポーランドを選んだようなものなので、滞在中が一番興奮した。